

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費

## 事業名 交番等建設費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 装備施設課 電話番号：058-271-2424 (内 2262)

E-mail：[c18873@pref.gifu.lg.jp](mailto:c18873@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 217,326 千円 (前年度予算額：319,717 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	319,717	0	0	0	0	0	0	235,900	83,817
要求額	217,326	0	0	0	0	0	0	161,600	55,726
決定額	217,326	0	0	0	0	0	0	161,600	55,726

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

施設の機能不足 (相談室、外来者トイレ、女性仮眠室、女性トイレ)、敷地不足や位置不適、建物の老朽化等により、早期に建て替えが求められていた交番や駐在所について改築整備を行う。

### (2) 事業内容

- ・七郷交番の設計委託 (岐阜北警察署管内)
- ・南濃交番の設計委託 (海津警察署管内)
- ・池田交番の設計委託 (揖斐警察署管内)
- ・駄知交番の改築 (多治見警察署管内)
- ・土岐津交番の設計委託 (多治見警察署管内)
- ・鶴里警察官駐在所の改築 (多治見警察署管内)
- ・神坂警察官駐在所の設計委託 (中津川警察署管内)
- ・荘川警察官駐在所の改築 (高山警察署管内)
- ・領下交番旧庁舎の解体 (岐阜南警察署管内)
- ・大和警察官駐在所旧庁舎の解体 (郡上警察署管内)
- ・武芸川警察官駐在所旧庁舎の解体 (関警察署管内)

- ・東加納交番の解体（岐阜南警察署管内）

### （３）県負担・補助率の考え方

機能不備や老朽化等に伴う地域の安全を守る交番や駐在所の改築事業であり、県負担は妥当である。

### （４）類似事業の有無

無し

## ３ 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	3,032	建設事務費、新交番等に必要な事務用品の購入
役務費	1,363	建築確認手数料、浄化槽最終清掃手数料、測量・不動産鑑定料
委託料	33,071	工事設計委託料、工事監理委託料、地盤調査委託料
工事請負費	178,126	建設工事費
その他	1,734	仮事務所庁舎借上、新交番等に必要な事務用備品の購入
合計	217,326	

### 決定額の考え方

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
管内情勢や施設を取り巻く環境変化に伴い、施設に求められるニーズに対応できず、機能不備により地域住民の利便性や建物の老朽化により執務環境が著しく低下した交番や駐在所について計画的に整備する。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

交番・駐在所等の改築整備の事業であり、目標値や指標の設定は困難である。

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
領下交番（岐阜南警察署）、大和警察官駐在所（郡上警察署）、武芸川警察官駐在所（関警察署）、明智警察官駐在所（恵那警察署）、丹生川警察官駐在所（高山警察署）の建て替えを行っている。  
また、駄知交番（多治見警察署）、鶴里警察官駐在所（多治見警察署）、荘川警察官駐在所（高山警察署）の建て替えに先立って設計委託を実施した。

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
新たな交番では、バリアフリー設計や相談コーナー、客だまりスペース設置などの機能アップを行い、地域住民が利用しやすい施設とする。  
駐在所についても、機能不備の問題解消を図るため、機能アップ等を行っている。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	施設を取り巻く様々な環境の変化に伴う機能不足や老朽化により地域住民及び勤務員の利便性が著しく低下している交番・駐在所が多数存在しており、建て替えが求められている交番・駐在所を計画的に整備していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	地域に必要とされる現有の交番・駐在所の更新整備であり、有効性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	地域事情に合わせて県民の求める必要な機能を確保するため、効率的な設計を行っている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内には 220 か所の交番・駐在所があり、その改築整備にあっては総合的な検討を行い、計画的に進めていかななくてはならない。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 建築年次、施設を取り巻く著しい環境変化による位置不適や著しい老朽破損、財政負担の平準化などについて総合的に検討を行い、整備計画を策定し計画的な改築を行っていく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【 課 】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	